

東日本高速道路株式会社 北海道支社  
支 社 長 堀 圭一

## 質問書に対する回答

(工事名) 道東自動車道 東占冠トンネル工事

### 質問事項と回答

番号	質問事項	回答
1	<p>【参考図4/40】工事工程表（参考図）の平均月進においてC I -K-S2は15m/月、C II -K-S2は15m/月、D I -K-S2は14m/月と記載されています。</p> <p>【トンネル設計図34、35/171】に記載されている吹付コンクリートの数量を用いてサイクルタイムを算出するとC I -K-S2は13m/月、C II -K-S2は13m/月、D I -K-S2は12m/月となります。</p> <p>参考図に記載されている平均月進は吹付コンクリート（<math>t=250\text{mm}</math>、<math>36\text{N/mm}^2</math>以上）を考慮せずサイクルタイムを算出されていると思われます。</p> <p>サイクルタイム算出にあたり吹付コンクリート（<math>t=250\text{mm}</math>、<math>36\text{N/mm}^2</math>以上）を考慮するのかご教示願います。</p>	サイクルタイムには考慮しておりません。
2	<p>【金抜設計書】においてC I -K-S2、C II -K-S2の吹付コンクリート（<math>t=50\text{mm}</math>、<math>18\text{N/mm}^2</math>以上）およびD I -K-S2の吹付コンクリート（<math>t=100\text{mm}</math>、<math>18\text{N/mm}^2</math>以上）の数量が未計上だと思われます。</p> <p>設計数量をご教示願います。</p>	吹付コンクリートB（ $t=5\text{cm}$ ）C I -K-S2は吹付コンクリートB（ $t=5\text{cm}$ ）C I -S1に $13.3\text{m}^2$ 、吹付コンクリートB（ $t=5\text{cm}$ ）C II -K-S2は吹付コンクリートB（ $t=5\text{cm}$ ）C II -S1に $12.8\text{m}^2$ 、吹付コンクリートB（ $t=5\text{cm}$ ）D I -K-S2は吹付コンクリートB（ $t=5\text{cm}$ ）D I -S1に $12.5\text{m}^2$ 計上されます。
3	<p>【トンネル設計図32～35/171】において鏡吹付コンクリートは上半部の数量のみ記載されています。</p> <p>下半部は鏡吹付コンクリートを施工しないと考えてよろしいかご教示願います。</p>	ご認識のとおりです。

番号	質問事項	回答
4	<p>のり面工 (17/27) 3号補強土壁数量表に基礎フーチングがありますが、この中のコンクリートC2-1、型枠D、鉄筋Aの数量は金抜設計書に反映されておりません。</p> <p>単価項目のどこに含まれるのかご教授願います。</p>	特記仕様書28-8 補強土壁工 帯鋼補強土壁Bに含まれます。
5	<p>仮桟橋A～Eにつきまして、狩勝第一トンネル工事、ホロカトマムトンネル工事では桁材、覆工板他が購入品となっておりましたが、本工事では設計書に仮桟橋撤去工の項目があります。</p> <p>撤去するのであれば鋼材のリース期間をご教授願います。</p>	仮桟橋Bについては、一部の期間（4ヶ月）をリース品で計画しています。
6	仮設目隠し板工「設置A」「設置B」「移設A1」「移設A2」はそれぞれ、夜間施工、昼間施工のどちらでお考えでしょうか。	仮設目隠し板工は夜間施工となり、通行止め内の施工を想定しています。
7	<p>仮設目隠し板工で使用する材料は新品とのお考えでしょうか。</p> <p>材料詳細をご教示下さい。</p>	材料区分は中古品を想定しています。
8	<p>仮設構造物工 (3) 材料に中古品の購入材等の記載がありますが、撤去した材料はその場で引き渡しとのお考えでしょうか。</p> <p>撤去部材の扱いをご教示下さい。</p>	スクラップ処理を想定しています。
9	<p>仮設桟橋の一部は渴水期の冬期施工となります。除雪作業Aに含まれない人力による施工場所の除雪等、冬期施工に係る追加費用は、特記仕様書P47「30-1設計図書の変更及び追加について」の記載通り、協議とのお考えでしょうか。</p>	ご認識のとおりです。
10	工事用機械分解組立費（仮設構造物工）に仮橋設置用クレーンの記載は有りますが、仮橋撤去用クレーンはどの単価項目に計上とお考えでしょうか。	仮桟橋撤去用クレーンは割掛項目 工事用機械分解組立費（仮設構造物工）に含みます。
11	仮橋C数量集計表の支持杭打継ぎ手箇所は、9か所×3本=27か所ではないでしょうか。	ご認識のとおりです。
12	仮橋E数量集計表の覆工板3m幅の面積は108m <sup>2</sup> +96m <sup>2</sup> =204m <sup>2</sup> ではないでしょうか。	ご認識のとおりです。
13	<p>【特記仕様書 P.67, 68】</p> <p>仮桟橋撤去材の運搬・処分等の費用は別途協議と考えてよいですか。</p> <p>特記仕様書 28-21 仮設構造物工には、撤去材についての詳しい記載(処分等)がありません。</p>	撤去材はスクラップ処理を想定しています。

番号	質問事項	回答
14	<p><b>【設計図 工事用道路76、87/88】</b>          仮桟橋CおよびEの覆工板の仕様(落込式または締結式)が設計図に示されていません。          以下①②③のいずれを想定されていますか。          ①すべて落込式、②加工覆工板は締結式、それ以外は落込式、③①②以外。</p>	加工覆工板は締結式、それ以外は落込式となります。
15	<p><b>【設計図 工事用道路76/88】</b>          仮桟橋Cの設計図(76/88)数量集計表(右)の基礎コンクリートにある規格「アンカーボルト」(細別1524*6096、t=25)の名称は、「敷鉄板」の間違いではないでしょうか。</p>	アンカーボルトは誤記で、敷鉄板が正となります。
16	<p><b>【特記仕様書 P.33】</b>          構造物掘削 普通部B、C に記載の「供用路線脇 STA. 865+00～STA. 866+00付近への(土砂の)運搬、敷均し整形、仮置」とは、「滝の沢工事用道路①の南側(供用路線側)にある空きスペースに土砂の仮置場を設け、そこに掘削土を一旦仮置きする」という理解で良いですか。</p>	ご認識のとおりです。
17	<p><b>【数量明細書 5/13】</b>          トンネル設計図のパターン延長他から弊社が計算した避難連絡坑および本坑の覆工コンクリートの検測数量は、T1-4=277.4m<sup>3</sup>、T3-4=20,988.7m<sup>3</sup>です。          これに対し、数量明細書に示された数量は、T1-4=273.1m<sup>3</sup>、T3-4=21,048.4m<sup>3</sup>で異なります。          数量に間違いはありませんか。</p>	数量明細書のとおりです。
18	<p><b>【数量明細書 4/13】</b>          トンネル設計図のパターン延長他から弊社が計算したインバートコンクリートの検測数量は、C2-1(T)=本坑インバート10,748.4m<sup>3</sup>+連絡坑床板107.0m<sup>3</sup>=10,855.4m<sup>3</sup>です。          これに対し、数量明細書に示された数量はC2-1(T)=10,750.9m<sup>3</sup>で異なります。          数量に間違いはありませんか。</p>	数量明細書のC2-1(T)の数量は、10857.6m <sup>3</sup> が正となります。

番号	質問事項	回答
19	<p>【特記仕様書P. 44】          設計図(9, 17, 21/27)において示される補強土壁盛土範囲は、すべて購入材で埋め戻すことを想定されていますか。          それとも購入材はコンクリートスキン背面(B=1350)の凍上抑制層のみで使用し、それ以外の範囲は現地発生良質材で埋め戻すことを想定していますか。          特記28-8(4)材料で「補強土壁工の背面に用いる盛土材は、盛土工A3による搬入材料のうち、良質な材料を使用する」の記載がありますが、盛土工A3はコンクリートスキン背面(B=1350)の凍上抑制層の数量しか計上されていません。</p>	凍上抑制層、基盤排水層及び碎石置換工を除き、現地発生材で盛土・埋戻しを想定しています。
20	<p>【設計図 のり面工 17/27】          3号補強土壁工 構造図(3) 補強土壁工 数量表にある置換コンクリート工の目地材421m<sup>2</sup>はどの単価表の項目に含まれますか。          置換コンクリート工のコンクリート、型枠、鉄筋は、単価表 番号66-77の数量に含まれていますが、割掛 雜工事費の目地材費の内訳には、置換コンクリート工の目地材の数量が計上されていません。</p>	割掛項目の目地材費に含まれます。
21	<p>【設計図 のり面工 17/27】          3号補強土壁工 構造図(3) 補強土壁工 数量表にある基礎フーチング工の費用は、単価表 番号49の帶鋼補強土壁Bに含まれると考えてよいですか。          特記28-8(1)の定義に基づき基礎フーチング工の記載はなく、単価表 番号39-43のコンクリート基礎工にも当該数量は含まれていません。</p>	基礎フーチング工の費用は、設計図17/27の数量表に記載のとおり、それぞれの単価及び割掛項目に含まれます。
22	<p>【特記仕様書 P.51】          特記28-13-3(2)適用すべき諸基準に、(社)土木学会 コンクリートライブリーアー1 1 2号～エポキシ樹脂塗装鉄筋を用いる鉄筋コンクリートの設計施工指針[改訂版]が示されていますが、トンネル設計図においてエポキシ鉄筋を使用する記載は見当たりません。          このため、現時点ではエポキシ鉄筋の使用は想定していないと考えてよいですか。</p>	トンネル部でエポキシ鉄筋の使用は想定しておりません。

番号	質問事項	回答
23	<p>インバート早期閉合断面 (DⅡ-a-S1(H)-B, DⅢa-S1(H)-B, DⅢa-S(H)-B-F)について、参考図12/40、13/40では、盤下げ数量とインバート仮埋め戻しの数量が同数量となっております。</p> <p>盤下げ数量は、下半盤よりインバート吹付け下面までの掘削数量であり、インバート仮埋め戻し数量は、下半盤よりインバート吹付け上面までの数量であるため、同数量でないと思われます。</p>	<p>インバート仮埋戻し数量は以下が正となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• DⅡ-a-S1(H)-B, DⅢa-S1(H)-B : 13.052m<sup>3</sup>/m</li> <li>• DⅢa-S(H)-B-F : 10.011m<sup>3</sup>/m</li> </ul>
24	インバート早期閉合断面のサイクルタイムをご公表願います。	サイクルタイムは公表致しませんので、貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
25	インバート吹付け工の吹付時間は、R5年度積算基準のサイクルタイム【M×(N1+N2) × 『はね返り率』 × 60 / 10+10】に沿って、算出されているとの認識で良いでしょうか。	算出基準については、積算に関する質問のためお答えできません。 なお、サイクルタイムは公表致しませんので、貴社の施工計画に基づき費用を計上願います。
26	インバート吹付け工は、インバート早期閉合断面 (DⅡ-a-S1(H)-B, DⅢa-S1(H)-B, DⅢa-S(H)-B-F) の吹付けコンクリートAの項目で計上されているとの認識で良いでしょうか。	ご認識のとおりです。
27	型わくT (L)について、非常駐車帯妻型わく（割掛対象表参考内訳でも計上）の数量が含まれていると思われますが、ご確認をお願いいたします。	型わくT (L)の数量は、2,150m <sup>3</sup> が正となります。
28	令和6年2月21日【質問と回答⑥】番号16の回答については理解致しました。しかし、【金抜設計書 番号130-132】の数量は各々13m <sup>2</sup> 増える（【金抜設計書 番号133-135】と同数量）と思いますがご教示願います。	<p>金抜設計書130～135の吹付コンクリートの数量は以下が正となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 130 吹付コンクリートB (t =5cm) C I -S1 : 158m<sup>2</sup></li> <li>• 131 吹付コンクリートB (t =5cm) C II -S1 : 149m<sup>2</sup></li> <li>• 132 吹付コンクリートB (t =10cm) D I -S1 : 136m<sup>2</sup></li> <li>• 133 吹付コンクリートA (t =25cm) C I -S2 : 10m<sup>2</sup></li> <li>• 134 吹付コンクリートA (t =25cm) C II -S2 : 9m<sup>2</sup></li> <li>• 135 吹付コンクリートA (t =25cm) D I -S2 : 9m<sup>2</sup></li> </ul>